

研究や課外活動、サークルやアルバイトなど、どのような学生生活を送っているのか、今、がんばっていることやたくさんの人に知って欲しい情報をお届けします。

## 大学入って一番の財産は繋がり 後輩にいい影響を与えられるよう、留学して研究を続けたい

大学院栄養生命科学教育部 人間栄養科学専攻 博士後期課程 2年  
足立 雄一郎 (あだち ゆういちろう)



### My Life Situation

趣味: 音楽



学部3年時に連長を務めた際の、お盆の阿波踊り本番の集合写真。



研究室の集合写真(コロナ前)。



学部3年時に連長を務めた際の舞台踊り披露時。

臨床食管理学分野 竹谷豊教授の研究室で、生活習慣病の中でも腎臓病に着目した研究を行なっている足立さん。微量栄養素といわれるビタミン、ミネラルの代謝の変化と病気の関わりをテーマに研究を進めています。「病気になる」と体の中のビタミンやミネラルが過剰になったり不足したりするんですが、その過不足が人体にどのような影響を与えるのかが分かっている微量栄養素って実はまだまだあるんです。これは裏を返せば、新しい食事療法を開発できる可能性があるという事になります。私たちの研究室では、Tom

band to bedside」を念頭に研究しており、私自身、臨床栄養学の世界に新たな知見を与えることを目指して基礎的な研究を行っています。自分の研究が、例えば最終的には、臨床現場での新しい食事摂取のガイドラインの策定などに繋がればと願っています。研究を通して足立さんが特に興味をもったのが、ストレス顆粒というストレスを受けると細胞内に形成される構造体。この研究のため留学を希望し、ストレス顆粒の第一発見者が在籍するボストンの『Brigham and Women's Hospital (ハーバード大医学部)』から受け

入れ許可を取り付けました。「受け入れ先を探すため、海外の先生とにかくメールを送りましました。全然返事が返ってこないところもあったんですが、一番興味をもっていた『Brigham and Women's Hospital』の先生からは、メールを送った数分後には『面接しよう』との返事をいただき、OKが出ました」。

海外留学を決めたのは、学部生の頃に連長をしていた阿波おどりの連栄養学連での体験が後押ししたといえます。「一番多い日だと150人近くで踊ったり、地域の夏祭りや学校行事に参加させていただいたり。栄養学連は現役生に加え、OB、OGも全国から集まって一緒に踊るのですが、ここでの先輩方との繋がりは、今回の留学を考えるようになったきっかけの一つです。全国・世界で活躍されている先輩方の話を聞いてみると、研究をもっと頑張りたい気持ち芽生えてきました。また、新しい世界へ踏み出す勇気と、多くのアドバイスをいただきました。大学に入って一番の財産はこうした繋がりがだと思えます。次は自分が後輩にいい影響を与えられるようになりたいと、話してくれました。

## 文系なのに趣味が理系 オリジナルゲームを完成させたいと思っています

総合科学部 社会総合科学科 3年  
米澤 七星 (よねざわ ななせ)



### My Life Situation

部活: デジタルアート研究部  
趣味: 絵を描くこと  
アルバイト: 学校内バイト  
(プログラミングやWEBサイトの作成)



描き溜めた絵の一部。ゲームクリエイトプロジェクトではひとつのゲームをみんなで作っています。米澤さんのメインの担当は絵ということですが、あれこれできるのでプログラミングや音楽など全体のアドバイスをすることも。「最悪すべての仕事が行って可能性もある」と苦笑い。

アクションロールプレイングゲーム『KINGDOM HEARTS』略称KH。このゲームに影響を受け、将来はゲーム関係の仕事に就きたいとオリジナルゲームの作成に挑み、キャラクターデザイン、作曲など、ゲームに関わるあらゆることを手掛ける米澤さん。「KHは絵がすごく上手くて、3D表現がキレイ。主題歌は宇多田ヒカルが歌っていて、ゲームを作るためには曲も作れるようにならない」と思っていて、作曲もちょこちょこやっています。

高校時代、コンピュータ部に所属し、『WOLF RPG エディター』という無料のゲーム作成ソフトを使用。このソフト、ほとんど日本語でプログラミングの基礎はこれで培い、大学入学後はゲームクリエイトプロジェクトに加入し、C言語もそこで教えてもらって、今はプロも使用する『Unity』を使ってゲーム制作をしています。話を聞いていると「あれ? 理工学部でしたっけ?」と錯覚してしまうのですが、「文系なのに趣味が理系」なだけといえます。「得意教科、数学なんですけど、理科が苦手な生物ダメ、化学もダメ。でもPCは好き。徳島大学なら文系でもプログラミングできると聞いて進学しました。ゼミは石田ゼミで、AIやプログラミングをやっていて、総合科学部は10単位分くらい理工学部の授業を受けてもいいので、6単位分くらい受けました。理工学部に進まなくても恩恵は受けています。子どもの頃から絵を描くのが好きで、デジタルアート研究部にも所属。魔法や魔女といったファンタジーの世界をよく描いて、描き

溜めていたら本ができるぐらいの量になったのだとか!さらに取材時、お気に入りイラストがアバターになっていて動くところや、ゲームキャラクターとしての動きも見せてもらい、卒業制作としてオリジナルゲームの完成をさせたいという話も現実味をおびていました。将来、徳島から世界を魅了するゲームクリエイターが生まれる日が来るかもしれません。

